

# 暮らしと環境保全

## ～災害に学ぶ～



近年、自然災害が増加し、しかも甚大化していることが大きな問題となっています。これらの自然災害から命を守る仕組みや維持管理技術の構築を含め、人や環境を守っていくことが応用地質学会環境地質研究部会での大きなテーマとなっています。

横浜は海と丘の街ともいわれるように、東京湾岸の低地と台地・丘陵から構成され、この台地・丘陵の斜面縁地は街中に緑の潤いを与えています。一方これらの特徴的な地形では、最近でも液状化や崖崩れ、斜面の崩壊が起こることもあります。

セミナーでは、ジオメリット(地質からの恩恵)を再確認し、環境地質や地盤災害に対する理解を深めることで、私たちに何ができるかを考えてみたいと思います。

**日 時** 2013年5月11日(土) 13:30～17:00

**会 場** 横浜市消費生活総合センター第2・3会議室

京浜急行線、横浜市営地下鉄 上大岡駅 徒歩5分

**参加費**：500円(資料代として)

**内 容**：

- ・大地の生い立ち
- ・神奈川のジオメリット、斜面災害、盛土と液状化
- ・横浜市内の大規模盛土造成地 耐震化の取り組み
- ・我が家の地盤耐震診断

**定 員**：100名(定員になり次第締め切りさせていただきます)

**申し込み**：メールもしくはfaxでお申し込み下さい

**主 催**：日本応用地質学会環境地質研究部会

**後 援**：神奈川県安全防災局

横浜市建築局(予定)

神奈川県建築士会(予定)

**協 力**：特定非営利活動法人くらしと住まいネット

さかえ住宅環境フォーラム

これからの横浜のまちづくりを考える横浜市民フォーラム

**申込先**：FAX045-534-7597 E-mail [eco-up@mbr.nifty.com](mailto:eco-up@mbr.nifty.com) (担当：島村)



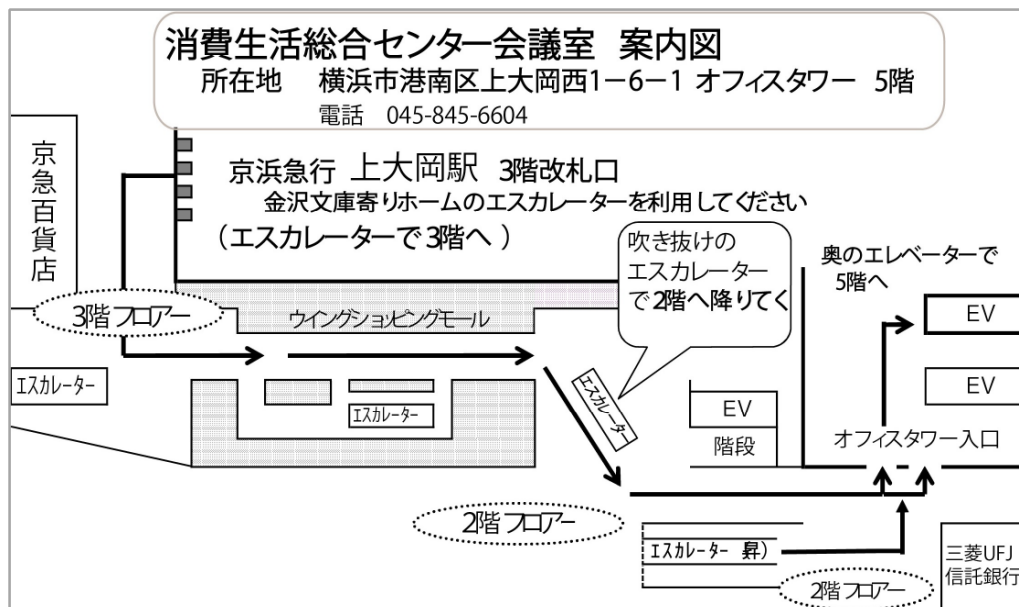
## 日本応用地質学会概要

日本応用地質学会は、実務や市民のためになる地学に関する調査研究の推進、技術の進歩普及と会員相互の交流を図り、学術・文化の発展に寄与することを目的として1958年（昭和33年）2月に創立され、2009年（平成21年）9月1日に一般社団法人日本応用地質学会に移行しました。

現在では産業界、学会、官界からの会員が増加し、総数約二千名の会員からなる日本の応用地質学の主導的学会として機能しています。環境地質研究部会は、人が環境や地質に対しどのように関わっていくべきかという視点で、地盤汚染・地下水汚染、廃棄物管理と地質、エネルギー問題、防災と環境保全の共生など環境地質に関する分野の研究を行っています。

## プログラム

- 13:00 開 場（司会：島村雅英（横浜エコアップ研究所））
- 13:30 開会あいさつ：稲垣秀輝（応用地質学会環境地質研究部会長）
- 13:40 大地の生い立ち（横浜の地形のなりたち） 大谷 晃（（株）クリアリア）
- 14:00 神奈川のジオメリット：高木俊男（復建調査設計（株））
- 14:30 斜面災害：船山淳（パシフィックコンサルタント（株））
- 15:00 休 憩
- 15:10 盛土と液状化：磯部有作（（株）地層科学研究所）
- 15:40 横浜市内の大規模盛土造成地 耐震化の取り組み：  
久松義明（横浜市建築局宅地企画課長）
- 16:10 我が家の地盤耐震診断：稲垣秀輝（（株）環境地質）
- 16:40 質疑応答
- 17:00 閉会あいさつ（吉田洋子（吉田洋子まちづくり計画室））



申し込先

FAX 045-534-7597

E-mail [eco-up@mbr.nifty.com](mailto:eco-up@mbr.nifty.com)

担当：島村

氏 名

連絡先

参加人数